

# 北西部地域体育施設整備基本方針概要版

## 《宇都宮市スポーツ推進計画の基本理念》

だれもが、いつでも、いつまでも、スポーツを楽しむ生涯スポーツの実現～「ひとり1スポーツ」の実現～

### 《スポーツ施設の現状と課題》

上位計画等より	利用状況等より	意向調査より
<ul style="list-style-type: none"> <li>幅広い年齢層の参加機会提供（高齢者の参加促進、子供の体力向上等）</li> <li>北西部地域に不足するスポーツ・健康づくりを中心とした新たな施設づくり</li> <li>既に形成されている地域拠点などの有効活用や各種機能集積を生かした拠点形成</li> <li>自然や交流などの北西部地域の特性を生かした機能の導入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内の体育館はスポーツ拠点として高稼働（県・市大会開催が可能な機能の確保）</li> <li>北西部地域は平日昼間の活動の場が不足（学校施設以外の確保）</li> <li>地域に配置されていない機能の確保</li> <li>高齢者スポーツ人口の増加等を踏まえ多目的に活用できる機能</li> <li>生涯スポーツ・健康づくりの場となる屋外施設</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツ活動を促進するための身近で気軽に利用できる施設</li> <li>軽い運動やトレーニングなど多くの人が行う活動の支援</li> <li>教室・講座など多目的な利用</li> <li>スポーツを通じた地域の交流・活力づくり等の場となる施設</li> <li>スポーツに関する情報発信、相談ができる場の確保</li> <li>北西部地域のスポーツ活動の拠点</li> </ul>

### 《施設整備の基本的な考え方》

#### 1 スポーツ施設整備計画における施設コンセプト

##### ● 地域の生涯スポーツ需要に対応できる施設・機能

市内・地域のスポーツニーズやスポーツ人口の動向を踏まえ、北西部地域に不足している生涯スポーツの受け皿としての機能を確保・充実し、様々なスポーツや健康づくりの拠点となる施設を目指すとともに、自然や交流などの北西部地域の特性を生かし、地域資源との相乗効果や魅力の創出につながる機能を検討する。

##### ● スポーツ以外にも多目的に利用できる施設

スポーツ活動を支える機能のほか、地域の様々な活動や健康づくり・介護予防等に活用できる機能を確保・充実し、多目的な利用を促進するとともに、地域のスポーツ活動への参加・交流等や地域外からの多くの人の利用を促進するため、地域の情報を発信・案内するなど、地域の活力の向上に役立つ機能を検討する。

##### ● バリアフリーによる誰もが利用しやすい施設

市民一人ひとりが、それぞれの年齢や身体・健康等の状態にかかわらず、生涯スポーツを楽しむことができるよう、誰もが利用しやすい機能を検討するとともに、様々な移動手段に配慮しながら、まちづくりにおける機能集積や周辺施設との連携も見据えたアクセスしやすい環境を確保する。

#### 施設の目指すべき姿

##### 2 整備テーマの設定

### 人が集いスポーツに親しみ 交流する ～自然とつながるスポーツスクエア～

スポーツスクエア = “みんなに愛され親しまれる場” “北西部地域の拠点・連携”

#### 施設づくりの方向性

##### 3 整備方針の設定

子どもから高齢者までが、スポーツの楽しさに触れ、継続して活動できる施設づくり

多くの人が交流し、健康でいきいきとした地域の活動を育てる施設づくり

誰もが気軽に利用でき、活発に利用される身近な施設づくり

北西部地域の特色を生かし、活力や魅力の向上等の波及効果をもたらす施設づくり

#### (1) 子どもから高齢者までが、スポーツの楽しさに触れ、継続して活動できる施設づくり

##### ・ 屋内スポーツ活動の場の確保

地域の生涯スポーツを支えるとともに、市内の既存の体育館の位置付け（拠点施設・準拠点施設）や利用状況なども踏まえて、新しい体育館に必要な機能を整備する。  
【整備の方向性】各種屋内スポーツに対応し、県・市大会の会場として活用できる広さのアリーナ、設備・諸室などを検討する。

##### ・ 屋外スポーツ活動の場の確保

地域ニーズやこれからのスポーツ動向に対応するとともに、市域の施設の配置状況なども踏まえて、高齢者をはじめ幅広い年齢層の利用が見込まれる機能を整備する。  
【整備の方向性】軽い運動やニュースポーツ、ジョギング等に多目的に活用できる運動場、ウォーキングコースなどを検討する。

#### (2) 多くの人が交流し、健康でいきいきとした地域の活動を育てる施設づくり

##### ・ スポーツや健康づくりに親しむ機会の拡充

様々なスポーツ活動をはじめ、健康づくりや介護予防活動、地域行事などの利用に対応できる付帯機能を整備する。  
【整備の方向性】ヨガ・ダンスやニュースポーツ等のスポーツ活動のほか、地域行事等に活用できる屋内設備（多目的室、会議室等）及び屋外設備（芝生広場、健康遊具）などを検討する。

##### ・ 多くの人の利用と交流の促進

地域の人々のスポーツ活動や健康づくりへの参加を促進するとともに、活動をきっかけとした交流を育む地域の情報を収集・発信する機能や憩いの場を整備する。  
【整備の方向性】地域のスポーツ活動やイベント等の情報を提供する場、ロビー等のフリースペースなどを検討する。

#### (3) 誰もが気軽に利用でき、活発に利用される身近な施設づくり

##### ・ 高齢者をはじめ、障がい者や子育て中の人なども利用しやすい設備の充実

「やさしさをはぐくむ福祉のまちづくり条例」の基準によるバリアフリー化を図るとともに、子ども連れでも気軽に利用できる機能を整備する。  
【整備の方向性】多機能トイレ、車いす対応エレベーター等の誰もが共用できる設備やユニバーサルデザイン、キッズコーナーなどを検討する。

##### ・ 地域内外からのアクセス環境の充実

自動車、徒歩、自転車、公共交通等の多様な移動手段に配慮した利用しやすいアクセス環境や駐車スペースを確保するとともに、地域の活動場所である地区市民センターや小・中学校、その他の地域資源との連携も踏まえ検討する。  
【整備の方向性】地域内交通や路線バス等との連結、十分な駐車場・駐輪場の確保などを検討する。

#### (4) 北西部地域の特色を生かし、活力や魅力の向上等の波及効果をもたらす施設づくり

##### ・ 地域資源との連携等による相乗効果や新たな魅力の創出

自然に恵まれた環境や森林公園、ろまんちっく村、冒険活動センターなどの多様な北西部地域の資源・特色を生かし、地域内の回遊や交流人口の拡大につながる機能を整備する。  
【整備の方向性】周辺環境や既存施設と連携したサイクリング、登山・ハイキング等の基点・中継機能、北西部地域の魅力を発信できる情報コーナーなどの整備を検討する。

##### ・ 地域の恵まれた自然環境との融合

環境負荷の低減を図る機能の導入等による自然環境への配慮や地産の資材の活用等による施設の特徴・魅力づくりを検討する。  
【整備の方向性】雨水等の自然資源の活用、省エネルギー・高効率な設備や地産木材・大谷石等の採用などを検討する。

人が集いスポーツに親しみ交流する ～自然とつながるスポーツスクエア～

## 《建設候補地選定の考え方》

### 候補地の選出

屋内スポーツ機能（体育館）、屋外スポーツ機能（多目的に活用できる運動広場等）、その他（駐車場等）の整備に向け、施設整備が可能な一団の平坦な土地を選出する。その上で、具体的な建設候補地として、導入する機能や土地の場所・形状に応じ、施設整備に必要な面積を確保する。

#### 【施設整備に適さない区域の除外】

- ・ 農用地区域（法規制）
- ・ 災害危険区域（安全）
- ・ 山林・森林（アクセス性・環境保全）

#### 【利用しやすい環境を備えている区域の抽出】

- ・ 自動車によるアクセス性（広域的な幹線道路、IC等）
- ・ 公共交通（バス路線）

#### 【施設整備に適した土地の選出】

- ・ 土地の現況
- ・ 公図、登記の状況

### 候補地の評価

様々な条件や視点に基づき、候補地を客観的に評価する。

#### 【評価基準】

- ・ 整備効果（立地から見た施設利用圏域）
- ・ ネットワーク型コンパクトシティの考え方を踏まえた地域拠点等との関係性
- ・ 施設整備のしやすさ・整備費用（用地取得、排水環境、接道等）

#### 【詳細な現況調査による評価の精査】

- ・ 現地踏査による土地の状況や周辺環境の調査
- ・ 候補地の優先順位の判定

## 《施設整備に向けて》

### ● 施設の導入機能の精査

- ・ プロスポーツチームや宇都宮市出身のアスリートの活躍などによる新たな関心の高まり
  - ・ 東京オリンピック・パラリンピック、とちぎ国体などのビッグスポーツイベントの機運 など
- ⇒ スポーツ環境の変化や新たなニーズを捉え、これらの視点も加えて分析を深めながら、施設の導入機能を精査し、施設の規模を含めた整備内容を具体化する。

### ● 健康づくりや観光・地域振興等への波及効果

- ・ スポーツクラブ、体育協会、スポーツ少年団などによる多様な地域スポーツ活動
  - ・ 健康ポイント事業の開始（健康づくり活動、健康寿命の延伸）
  - ・ 地域の魅力向上や観光振興など地域資源の活用方策の検討 など
- ⇒ 関係団体の活動や関連事業との整合を図るとともに、民間開発の動向なども注視しながら、スポーツの果たす様々な役割・効果を有効に活用する。

### ● 関係機関等との連携・調整

- ・ 周辺の道路整備・改良、交通計画 など
- ⇒ 円滑かつ着実に施設整備を推進するため、道路管理者や交通事業者等との連携・調整を図る。

## ○ 整備スケジュール

第2次宇都宮市スポーツ施設整備計画の終了年度（平成36年度）を目途に、順次、必要な業務を進行していく。